

川幸通信

第22号
平成19年7月発行

「輻射熱」

「ふくしやねつ」と読みます。建築関係を勉強された方はよく聞いた言葉だと思えます。ではいつたいこれは何者なんでしょうか...

辞書をひくと「ある物体から放出され、他の物体に吸収されてその温度上昇に使われる熱エネルギー」とかかれていますが、この現象は主に赤外線などが影響を及ぼします。

熱の伝わり方は、伝導・対流・輻射の3種類あります。後二つの意味もついでに：
・伝導：熱や電気が物体内を移動する現象
・対流：熱せられた流体が上部へ移動し、周囲の低温の流体が流れ込むことを繰り返す現象

今の時期、家に帰宅すると閉め切った室内はモワアンと暑いですが、特に最上階や屋根裏はちよつとしたサウナ状態。日が暮れたのに室内は暑いまま。断熱材を入れてあるのになぜこうなるのでしょうか。天井や壁から熱のお化けがずつしりりのかかる感じでしょうか。それは輻射熱を考慮していないからですよ。

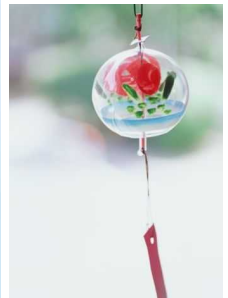
伝導は、熱が伝わるのを遅らせる技術の断熱性能を上げればカバーできます。ただ、断熱材はそれ自身が熱を溜め込み、外気温が下がっても蓄えた熱を放出するので厚すぎると暑さ対策には逆効果です。

対流は、空調設備や建物の気密性を上げることがクリアーできるでしょう。

ん？では輻射熱は？近いもので例えると、電子レンジ。熱源が無いのに物が温まる。不思議ですが、電子レンジで物を暖めない方法はご存知ですか？アルミホイルにより、マイクロ波を反射させ過熱を阻止できます。試されると火花が出ますのでご注意ください。あつ！そうか、家を丸ごとアルミホイルで包んでしまえば、考え方はあつていますが、施工性が悪いです。でもこれが遮熱というしくみです。

では遮熱ができる建材はというと、デュオン社などで輻射熱を遮るシート状のものが発売されています。私が一押しなのは遮熱塗料。内外装の仕上材として使え、特に改修工事にはお奨めです。

ただ何せ歴史が浅く実績が少ないのが現状ですが夏の暑さを回避には効果が期待できるでしょう。これをから気密・断熱・遮熱の3本柱が建物の性能を示すキーワードになりそうです。断熱+遮熱性能を上げることによつて夏を快適に過ごせると言つても過言ではないかもかもしれません。



つれづれ...

私の住んでいる町、碧南市に「元氣ツス！碧南」という仮装祭りがあります。

あおい緑に空もあおいも碧南人は元氣つす！心も晴れて

この曲に合わせ仮装した市民がねり歩くのです。現代版盆踊り...

流れます。曲名は知りませんが...

今年も先日の土曜日開催され、初めて見学に行きました。きそばにビール・やきとりにわたしがし・バナナチョコなどなど...お祭りの屋台を見ていると楽しくなりませんか。

あつ！メインの踊りを見たら！すつかり忘れていました！

来年は粗挽きフランク炭火焼に挑戦したいです。

あつ！屋台の記憶しかないや...

豊田市の「おいでんまつり」に良く似ているらしい

来年は碧南に集まりん！

(三河弁)(笑)



TEL 0566-53-1214
FAX 0566-53-2094

川幸窯業株式会社

E-Mail info@kawakoh.co.jp
HP http://www.kawakoh.co.jp